



知内町ホームページ

知内町



矢越岬



矢越クルーズ

道内最古の温泉と感動の 絶景クルーズのまち

開湯800年と道内最古の歴史を誇り、かけ流しの5つの源泉から異なる泉質の湯と地元旬の食材を使った料理を楽しむことができる知内温泉旅館。同温泉旅館の18代目佐藤さんが、旅館のお客様にも『ぜひ乗ってみて』とおすすすめる知内町で外せないアクティビティの一つが「矢越クルーズ」だ。道南の秘境と呼び声の高い矢越海岸の「帯や」「青の洞窟(福島町)」を

めぐるクルーズのなかでキャプテン自ら奏でる龍笛も魅力の一つ。矢越岬の断崖に立つ鳥居を眺めながら松前神楽に耳を傾けると、心が洗われるような気分。乗客にオリジナルの御守をプレゼントしたりと、様々な工夫が凝らされている。クルーズは毎年4月下旬から10月上旬に運航しており、「5月は新緑、秋は紅葉と、スリーシーズン通しておすすすめできます」と佐藤さん。海風に吹かれてたつぷりと自然を堪能した後は、知内温泉で旅の疲れを癒しては。



知内温泉上の湯



知内温泉ユートピア和楽園 専務 佐藤 昌人 さん

名湯揃いの北海道の中でも、開湯から約800年と最も歴史の古い温泉が知内町にあるという、意外に思う人もいるかもしれない。佐藤さんは知内温泉の18代目として旅館を経営しながら、若手経営者仲間たちと知内の魅力を発掘している。

18歳で知内を出ると東京や札幌で暮らし、20代半ばでUターン。いざ故郷に戻ってみると、「一次産業が盛んな町だからこそ、外からお客さんを呼ぼうという意識がない」

ことに気づいた。このままではもったいないと、幼なじみや同級生たちに声をかけて、観光に取り組む仲間を増やした。矢越クルーズの代表・村田さんも、佐藤さんの呼びかけに応じて知内に戻った一人だ。

「知内は一見『なんにもない』のが良いところ。僕たちが当たり前と思って見ている海も山も川も、実は魅力が溢れている」。自然を活かしたテントサウナを企画するなど、新たな取組の模索を続ける。

知内温泉旅館
ユートピア和楽園



知内町湯の里284
☎01392-6-2341

